



特別職の報酬等の額について（答申）

府中市特別職報酬等審議会

特別職の報酬等の額について（答申）

平成30年10月2日付け、30府政職第138号で貴職から諮問がありました
標記について、次のとおり答申いたします。

平成30年12月7日

府中市長 高野 律雄 様

府中市特別職報酬等審議会

会 長 濱 中 重 美

会長職務代理者 高 野 佳 子

委 員 井 上 郁 子

近 藤 愛

櫻 井 誠

志 水 清 隆

長 崎 益 治

堀 江 一 男

丸 山 悦 子

渡 邊 信

1 審議の経過

平成30年10月2日に府中市長から「特別職の報酬等の額について」の諮問を受けた府中市特別職報酬等審議会は、公正な立場にたって慎重に審議を行った。

報酬等の審議に際して以下の資料を活用し、府中市の財政状況、現在の社会経済情勢や市民感情、国の人事院勧告及び東京都人事委員会勧告の内容などを踏まえ、他市との比較等検証し、その額が適正かどうか検討した。

2 主な審議資料

- (1) 府中市の特別職報酬等改定の推移、財政の推移、国・都及び民間の平均給与と改定率の推移、特別職報酬等及び一般職給与改定の推移と年収比較、特別職の対外的役職及び活動状況
- (2) 東京都26市の人口及び世帯数の推移、財政状況、特別職報酬等額の順位及び改定状況、市長の給料と特別職報酬等との格差
- (3) 東京都23区の特別職報酬等額の改定状況
- (4) 全国類似団体の財政状況、特別職報酬等額の改定状況
- (5) 東京都区部消費者物価指数
- (6) 全国主要家計指標の動向
- (7) 平成30年8月10日に発表された人事院勧告
- (8) 平成30年10月12日に発表された東京都人事委員会勧告

3 審議の内容

(1) 特別職報酬等の額を取り巻く状況について

ア 現在の日本経済は、アベノミクスの取組の下、2012年末から緩やかな回復を続けており、景気の回復期間は戦後最長に迫っている。また、企業収益が過去最高となる中で、雇用・所得環境が改善し、消費も持ち直しが続いている。今後は、少子高齢化が進む中で、人手不足に対処しつつ、潜在成長率を引き上げていくことが大きな課題である。

イ 府中市の財政状況は、平成25年度以降は、景気の回復傾向により、市税収入などは増加傾向となっているが、ふるさと納税や税制改正の影響による歳入の減少が見込まれる一方、歳出が増加する見込みのため、依然として厳しい財政状況が続くことが予想され、引き続き、歳入確保の取組や事務事業の見直しなどの行財政改革に取り組んでいくことが必要な状況である。

ウ 平成30年度の人事院勧告は、国家公務員給与が民間給与を655円下回っていることから、この較差0.16%を埋めるため、初任給及び若年層に重点を置きながら俸給表の水準を引き上げる勧告となった。

また、東京都人事委員会勧告は、東京都職員給与が民間給与を108円下回ったため、有為な人材確保の観点から初任給を引き上げ、給料表の初任層を較差の範囲内で引き上げる勧告となった。

期末・勤勉手当については、民間の支給割合に見合うよう国が0.05月分、東京都が0.1月分引き上げる勧告となった。

エ 東京都26市における各役職の報酬等額を高いほうから並べた場合の府中市の順位は、市長が2位、副市長が2位、教育長が1位、常勤監査委員が6市中4位、議長が4位、副議長が8位、常任委員会委員長が20市中2位、議員が3位である。

(2) 据え置きが適当とする意見

ア 現在の財政状況は安定しているが、今後歳入の減少が見込まれることや市庁舎建設、施設の老朽化対策、災害対策、高齢化対策等に要する費用が不透明であること等を考慮すると、将来的な財政状況は決して楽観視できる状況ではないため、据え置きが妥当。

イ 引き上げ若しくは引き下げについて考えた際に、どちらも明確な理由付けができるほどの判断材料になるものがない。

ウ 好景気が実生活で感じられるまでには至らないため、市民感情を考慮すると、引き上げることは難しい。

エ 人事院勧告や東京都人事委員会勧告で職員の給料について大きく変えないということであれば、改定しなくてよい。

オ この2年間の経済状況等を考えると、良い方向に変化したことはないため、引き上げることは難しい。

(3) 引き上げが適当とする意見

ア 議員の報酬は、平成7年から改定がされていないため、他団体や特別職とのバランスを考慮し、引き上げの検討を行ってもよい。

イ 府中市の財政状況に関する資料を見ると、有効かつ効率的な財政運営に尽力した結果が表れているため、引き上げてもよい。

(4) その他の意見

ア 特別職、議員の活動状況については、依然として見えにくい部分があるため、審議に当たっては、活動状況や活動実績等がわかる資料があると判断しやすい。

イ 今後、引き上げの結論に至った場合には、役職間はもとより、他市との格差など、全体のバランスを考慮した上で、引き上げ額を決定したほうがよい。

ウ 2年後には、ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックの取組実績等の成果も出ていることから、その点を考慮して改めて検討してもよい。

これらの意見を踏まえ、総合的な見地から審議し、全会一致で次の結論に達した。

4 結論

府中市の特別職報酬等の額について、特別職報酬等の額をめぐる社会的・経済的環境、市民感情、また他市の動向等を考慮し審議を重ね、本審議会としては、現状のまま据え置くことが妥当であると判断した。